



まじめに税金を納めている
人がいるのに...

18年度 未収金

国保 約30億、
区民税 約21億、
その他 約7億円

このままで良いのか!
毎年約58億円が
未収のまま

担当課を新設(平成17年)したのに機能しない未収金対策

中野区の未収金問題については、何回となく議会で取り上げてきました。「未収金額の大きさもさることながら翌年に繰り越され、その結果、財政を圧迫し続け、いずれ時効になってしまう。公平・公正の点からも問題だ」と私は述べてきました。区は17年「未収金対策担当」を新設しましたが、ほとんど改善されていないのが実状です。

	収入未済額	不納欠損額
16年度	58億5900万円	14億4700万円
17年度	57億 200万円	14億5000万円
18年度	58億3700万円	14億8100万円

区民税の収納率は23区で20番目

私は未収金の回収について「集金方法やそのための手法をどうするかでなく、回収のための組織体制に問題がある!」と指摘、未収金対策担当により強力な権限と責任を与えるべきだと主張しました。これに対し区は「未収・未納が発生する根本的な原因をきちんと分析して、効果のある対策を打っていきたい」と今後の取組み体制について答えました。

足立区では財産差押えの強制処分

2月28日の東京新聞朝刊によると、足立区では住民税約600万円を滞納し、文書や電話による催促にも応じなかった30歳代の男性会社経営者に対し、警察官や都税事務所職員が立ち会う中、区職員ら計15人体制で財産差押えの強制処分に踏み切っていたことが分かったと報じています。区納税課は「悪質な滞納者には今後も毅然とした態度で収納確保に取り組む」としていますが、はたして中野区ではどうでしょうか。